

被保護精神障がい者等地域移行支援事業の実績報告 (R4. 4月～10月)

1 精神科病院への訪問

- ・在院日数が180日を超えた被保護者が多い病院を中心に、主に病院PSWに対して、事業の説明及び病院における地域移行支援の取組みの状況について聞き取りを行った。

R4. 4～10月・・・8病院 (R3:5病院)

2 候補者情報の収集及び保護課での集約

- ・医療扶助審議会で「不承認が妥当」と答申が出た方について、医療要否意見書、ケース記録等の資料及びケースワーカー等からの聞き取りにより情報収集を行うとともに、保護課でその情報の集約に努めている。

3 候補者・対象者への支援

- ・上記の方について、本人への支援及び関係者（実施機関や病院等）からの聞き取りを行っている。

R4. 4～10月：165回 (R3：247回)

本人との面談 R4：43名 計80回 (R3：54名 78回)。

⇒退院：2名 (退院先 障がい者グループホーム、住宅型有料老人ホーム)

※R3年度に退院となった5名については、5名とも救護施設に入所となり、その内1名はその後グループホームに入所となった。4名については現在も救護施設に入所中。

- ・他事業と連携し、重層的な支援を実施している。
例) 地域生活移行推進事業につないだ事例：3名

4 地域移行推進検討会議での報告

- ・全体会において、大阪市の長期入院患者に対する援助体制の現状や救護施設等の情報提供を行っている

R4：2回予定 (R3：2回)

- ・個別会において、個別事例に対する支援の進め方の意見をいただいている。

R4：2回予定 (R3：3回)